

資料 No. 1-2

「地域公共交通網形成計画」における評価指標について

湯河原町地域公共交通網形成計画の達成状況を評価するために設定した評価指標について、前期期間の実績値を踏まえ、後期期間の目標値の見直しを行います。

■評価指標及び現状値及び目標値

基本方針	目標	評価指標	計画策定時 (平成29年度)	前期 (令和3年度)		後期 (令和7年度)		【参考】 目標値の算定方法
				目標値	実績値	目標値	変更事由	
方針① 公共交通不便地域の移動手段の確保と公共交通ネットワークの強化	目標① 公共交通不便地域の改善・解消	①新たな公共交通システム稼働率	—	30%	28.6% (令和2年度)	50% 40%	稼働率50%を達するためには1日あたり14便の稼働が必要であるが、実証運行、本格運行を通じて目標値に達した月がないことから、実績に合わせて、下方修正するもの。	1日あたりに運行できる最大便数に対する運行便数の割合 (運行便数/(運行日数×一日の最大運行便数))
		目標② 乗継拠点(交通結節点)の機能強化	—	20,000人/年	2,998人/年 (令和2年度)	20,000 4,000人/年	延べ利用者数20,000人を達するためには1月あたり延べ約1,650人の利用が必要であるが、稼働率と乗車密度の兼ね合いにより実態に見合った指標とするもの。 1日28便×40%(稼働率)÷11便 11便×1.5人(乗車密度)÷16人 16人×250日(運行日数)=4,000人/年 ※「湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン」のKPIに準拠	予約型乗合い交通「ゆたぼん号」の年間利用者数の実績
	③新たな公共交通システム利用者の満足度	—	50%	89%	70% 90%	令和3年度に実施したアンケートを基準に、上方修正するもの。	予約型乗合い交通「ゆたぼん号」利用者アンケートの「利用した感想」で「満足している」と回答した割合	
	④新たな公共交通システムによる外出機会の増加(買い物及び趣味活動等社会参加)	—	30%	63%	50% 70%	令和3年度に実施したアンケートを基準に、上方修正するもの。	予約型乗合い交通「ゆたぼん号」利用者アンケートの「利用した目的」で「買物・飲食」「習い事・趣味」と回答した割合	
	⑤湯河原町コミュニティバス年間利用者数	76,992人/年 (平成28年度)	81,000人/年	64,318人/年 (令和2年度)	81,000 73,000人/年	計画策定時に設定した1便あたり10名乗車という指標の変更はないが、令和2年度に実施した運行便数の見直しにより、修正するもの。 1便あたり10人×1日20便×365日=73,000人/年	湯河原町コミュニティバスの年間利用者数の実績	
基本方針② 福祉・観光等まちづくりと一体となった公共交通サービスの展開	目標③ 乗降しやすい車両導入による利便性向上	⑥路線バスのバリアフリー化率	84%	88%	97%	94%		町内路線バスの乗合い車両数に占めるノンステップ・ワンステップ等車両の割合
		⑦UDタクシー導入台数	2台	4台	18台	6台 20台	令和3年時点の導入台数を基準に、上方修正するもの。	町内タクシー事業者が導入しているユニバーサルデザインタクシーの台数
	目標④ 既存公共交通の利便性向上	⑧商業施設等との連携した公共交通利用者に対するサービス導入件数	—	0件	0件	1件		商業施設等と公共交通を相互利用促進のためのサービス導入の件数
基本方針③ 協働による持続可能な仕組みづくりの確立	目標⑤ 町民(地域)の公共交通に対する意識の醸成	⑨公共交通利用促進活動実施回数	—	2回	7回	7回		計画期間中に予約型乗合い交通「ゆたぼん号」の利用者説明会または地域公共交通に係る意見交換会を実施した回数

